



特集

幸村、 雌伏の郷 紀州

真田幸村、
敵さえも「日本一の兵」と賞賛したという
戦国時代最強で最後の武将。
その生涯の中で
最も長く暮らした場所が
紀州・九度山である。
家族と共に過ごした、慈愛に満ちた暮らし。
しかしそれは、来るべき時に備えた
雌伏の14年であった。